

グローバルテック グループ内部監査・コンプライアンス委員会 年次報告書

報告期間: 2024年1月1日 - 2024年3月31日

作成日: 2024年4月15日

委員長: 監査役 石川監査統括

事務局: 内部監査室、コンプライアンス推進室

エグゼクティブサマリー

2024年第1四半期において、グループ全体の内部統制システムは概ね適切に機能している。ただし、一部の子会社において改善が必要な事項が発見された。特にテクノロジーソリューションズ株式会社では、売掛金管理と在庫管理に関する重要な指摘事項があり、早急な改善が求められる。

第1章: 監査概要

1.1 監査方針・目的

監査方針: - リスクベースアプローチによる効率的な監査 - 内部統制の有効性評価 - 法令遵守状況の確認 - 業務プロセスの改善提案

監査目的: 1. 財務報告の信頼性確保 2. 業務の有効性・効率性向上 3. 法令等の遵守状況確認 4. 資産の保全状況確認

1.2 監査対象・範囲

監査対象会社: - グローバルテック株式会社（本社） - テクノロジーソリューションズ株式会社 - グローバルマニュファクチャリング株式会社 - フィンテックイノベーション株式会社 - グリーンエネルギー株式会社

監査領域: - 財務・会計プロセス - 営業・販売プロセス - 調達・購買プロセス - 人事・労務プロセス - IT・情報セキュリティ - コンプライアンス体制

1.3 監査実施体制

内部監査室: - 室長: 田村内部監査 - 主任監査人: 3名 - 監査人: 8名 - IT監査専門家: 2名

外部監査法人: - 主監査法人: あずさ監査法人 - IT専門監査: デロイトトーマツ - 税務監査: PwC税理士法人

第2章: 監査結果サマリー

2.1 全体評価

内部統制の有効性: B評価（概ね適切、一部改善要）

評価基準: - A: 優良（重要な不備なし） - B: 良好（軽微な改善事項あり） - C: 要改善（重要な不備あり） - D: 不適切（重大な不備あり）

会社別評価: - 本社: A評価 - フィンテックイノベーション: A評価 - グリーンエネルギー: B評価 - グローバルマニュファクチャリング: B評価 - テクノロジーソリューションズ: C評価

2.2 主要な監査指摘事項

重要な不備（要改善）

- テクノロジーソリューションズ: 売掛金管理プロセス
- テクノロジーソリューションズ: 在庫管理プロセス
- グローバルマニュファクチャリング: 原価計算プロセス

軽微な改善事項

- 本社: 経費精算プロセスの効率化
- グリーンエネルギー: 契約管理の標準化
- 全社: 情報セキュリティ教育の充実

第3章: 個別監査結果

3.1 テクノロジーソリューションズ株式会社

3-1-1. 売掛金管理プロセス（重要な不備）

監査期間: 2024年2月1日 - 2024年3月15日

監査責任者: 主任監査人 佐藤売掛金監査

発見事項の詳細:

E建設株式会社（85百万円、180日経過）:- 契約内容: 工事管理システム開発（2024年1月-8月） - 支払い条件: 月末締め翌月末払い - 遅延状況: 2023年12月請求分から未入金 - 遅延理由: 同社の主要プロジェクト（港区〇〇タワー）の予算超過 - 当初予算: 150億円 - 現在予算: 195億円（30%超過） - 工期延長: 6ヶ月（2024年12月→2025年6月） - 財務状況:- 自己資本比率: 22.1%（前年28.5%） - 流動比率: 110%（業界平均120%） - 売上高営業利益率: 2.0%（業界平均4.5%）

D流通株式会社（125百万円、125日経過）:- 契約内容: 基幹システム更新（2023年10月-2024年6月） - 支払い条件: 月末締め翌々月末払い - 遅延状況: 2023年11月請求分から遅延 - 遅延理由: 小売業界の競争激化による収益性悪化 - 既存店売上高: 前年比-8.2% - 営業利益率: 1.8%（前年3.2%） - EC化の遅れによる競争力低下 - プロジェクト影響: 予算削減により規模縮小（200→120百万円）

C金融株式会社（165百万円、95日経過）:- 契約内容: システム統合プロジェクト（2023年8月-2024年5月） - 支払い条件: 月末締め翌月末払い - 遅延状況: 2023年12月請求分から遅延 - 遅延理由: 金利環境変化による業績への不透明感 - 貸出金利息収入: 前年比-5.2% - 信用コスト: 前年比+15.3% - システム投資予算の見直し検討中

与信管理体制の不備:- 信用調査: 年1回実施（業界標準は半年毎） - 与信限度額: 設定はあるが見直し頻度が不十分 - 回収管理: 月次レポートはあるが分析が表面的 - 早期警戒システム: 未整備

推奨改善策: 1. 信用調査の頻度向上: 年2回→四半期毎 2. 与信限度額の見直し: 財務状況変化に応じた機動的な調整 3. 回収条件の見直し: 前金比率の引き上げ、支払いサイトの短縮 4. 早期警戒システム: 財務指標の定期モニタリング 5. 債権保全策: 必要に応じた担保・保証の設定

3-1-2. 在庫管理プロセス（重要な不備）

監査期間: 2024年2月15日 - 2024年3月31日

監査責任者: 主任監査人 山田在庫監査

長期滞留在庫の詳細分析:

ハードウェア在庫: - **Intel Xeon旧世代サーバー:** 12台 - 簿価: 45百万円 - 購入時期: 2023年9月（年間契約による大量購入） - 滞留期間: 6ヶ月 - 技術的陳腐化: 新世代CPUの性能が30%向上、消費電力20%削減 - 市場価値: 購入価格の60%程度（中古市場調査結果）

- **ネットワーク機器（旧規格）:** 8台
- 簿価: 18百万円
- 仕様: 10Gbps対応スイッチ
- 市場動向: 25Gbps/100Gbpsが主流に移行
- 顧客需要: ほぼゼロ（クラウド移行により不要）
- **ストレージ機器:** 15台
- 簿価: 22百万円
- 仕様: HDD中心の従来型SAN
- 技術トレンド: NVMe SSD、ハイパーコンバージドインフラが主流

ソフトウェアライセンス: - **Windows Server 2019:** 100ライセンス - 簿価: 8百万円 - サポート期限: 2029年1月 - 需要減少: クラウド移行によりオンプレミス需要激減

- **Oracle Database:** 50ライセンス
- 簿価: 4百万円
- 保守費用: 年間1.2百万円（年々上昇）
- 代替技術: PostgreSQL、MySQL等のOSSが普及

在庫発生の根本原因:

大量購入契約の問題: - **契約条件:** 年間最低購入数量の設定（前年比3倍） - **価格メリット:** 単価15%削減 - **リスク:** 需要変動への対応困難 - **見直し必要性:** 市場環境変化に対応した柔軟な契約条件

需要予測の精度不足: - **予測手法:** 過去実績ベースの単純予測 - **市場変化:** クラウド移行の加速を過小評価 - **顧客動向:** 技術トレンドの変化を十分に反映できず

技術変化への対応遅れ: - **クラウドファースト:** 顧客のクラウド移行が想定以上に加速 - **オンプレミス需要:** 予想以上の急減 - **新技術:** コンテナ、サーバーレス等の普及

プロジェクト変更の影響: - **D流通案件:** 予算削減により12台のサーバーが不要に - **E建設案件:** 工期延長により機器調達タイミングがずれ - **新規案件:** 受注予定案件の延期・中止

推奨改善策: 1. **在庫処分の促進:** - 中古市場での売却（予想回収率60%） - 他案件での転用可能性調査 - 評価損の適切な計上

1. **調達方針の見直し:**

2. 大量購入契約の条件変更交渉

3. Just-in-Time調達の導入

4. 需要予測精度の向上

5. **在庫管理システムの強化:**

6. 月次在庫回転率レポートの導入

7. 滞留在庫の早期警戒システム

8. 技術的陳腐化リスクの評価

3-1-3. プロジェクト管理プロセス（軽微な改善事項）

工数管理の課題: 直近3件の大型案件で工数超過が発生。見積もり精度の向上とプロジェクト管理体制の強化が必要。

品質管理の課題: 本番リリース後のバグ発生率が前年比40%増加。十分なテスト時間の確保とレビュー体制の強化が必要。

3.2 グローバルマニュファクチャリング株式会社

3-2-1. 原価計算プロセス（重要な不備）

監査期間: 2024年2月20日 - 2024年3月25日

監査責任者: 主任監査人 鈴木原価監査

発見事項: - 間接費配賦: 配賦基準が実態と乖離 - 標準原価: 見直し頻度が不十分（年1回→四半期毎が適切） - 原材料価格: 価格変動の反映が遅れ

影響: - 製品別収益性の把握困難 - 価格設定の適切性に疑問 - 意思決定情報の信頼性低下

推奨改善策: - 配賦基準の見直し - 標準原価の更新頻度向上 - 原材料価格の月次更新

3-2-2. 設備投資管理（軽微な改善事項）

千葉新工場の投資管理: - 総投資額: 120億円 - 進捗: 計画通り（7月稼働予定） - 課題: 投資効果測定指標の明確化が必要

3.3 フィンテックイノベーション株式会社

3-3-1. 総合評価（A評価）

優良事項: - 金融業界基準に準拠した内部統制 - セキュリティ体制が最高レベル - コンプライアンス体制が充実

軽微な改善事項: - システム開発プロセスの文書化強化 - 第三者ベンダー管理の標準化

3.4 グリーンエネルギー株式会社

3-4-1. 契約管理プロセス（軽微な改善事項）

発見事項: - 発電所建設契約の管理が属人的 - 契約条件の標準化が不十分 - 進捗管理の可視化が必要

推奨改善策: - 契約管理システムの導入 - 標準契約書の整備 - プロジェクト管理ツールの活用

3.5 本社（グローバルテック株式会社）

3-5-1. 経費精算プロセス（軽微な改善事項）

発見事項: - 経費精算の承認プロセスが煩雑 - 電子化が不十分 - 処理時間が長い（平均5日）

推奨改善策: - 経費精算システムの刷新 - 承認フローの簡素化 - AI-OCRによる自動化

第4章: IT・情報セキュリティ監査

4.1 全社IT統制の評価

監査責任者: IT監査専門家 高橋IT監査

監査期間: 2024年1月15日 - 2024年3月31日

4-1-1. システム統制 (B評価)

アクセス管理: - ID管理: Active Directory統合済み - 権限管理: RBAC実装済み - 多要素認証: 90%導入完了

変更管理: - 開発・テスト・本番環境: 適切に分離 - リリース管理: 承認プロセス確立 - バックアウト手順: 整備済み

データ管理: - バックアップ: 3-2-1ルール準拠 - 暗号化: AES-256実装 - データ分類: 機密度別管理

4-1-2. セキュリティ統制 (A評価)

技術的対策: - ファイアウォール: 次世代FW導入済み - IDS/IPS: 24時間監視体制 - EDR: 全端末導入完了 - SIEM: ログ統合分析システム稼働

管理的対策: - セキュリティポリシー: 年次見直し実施 - 教育・訓練: 全従業員対象 (年2回) - インシデント対応: CSIRT体制確立

物理的対策: - データセンター: Tier3レベル - オフィス: ICカード認証、監視カメラ - 持ち出し管理: MDM導入済み

4-1-3. 個別システム監査結果

基幹システム: - ERP: SAP S/4HANA (A評価) - CRM: Salesforce (A評価) - 会計: 勘定奉行 (B評価、老朽化により要更新)

子会社システム: - テクノロジーソリューションズ: 独自開発システム (C評価) - レガシーシステムの技術的負債 - セキュリティパッチ適用の遅れ - ドキュメント整備不足 - フィンテックイノベーション: 最新技術スタック (A評価) - その他: 概ね良好 (B評価)

4.2 サイバーセキュリティ状況

4-2-1. インシデント発生状況

2024年第1四半期実績: - 重大インシデント: 0件 - 軽微なインシデント: 12件 - フィッシングメール: 8件（すべてブロック） - マルウェア検知: 3件（隔離・駆除完了） - 不正アクセス試行: 1件（ブロック）

対応状況: - 平均対応時間: 2.5時間（目標4時間以内） - 復旧時間: 平均1.2時間（目標2時間以内） - 再発防止: 全件で対策実施済み

4-2-2. 脆弱性管理

脆弱性スキャン結果: - 高リスク: 0件 - 中リスク: 5件（対応済み） - 低リスク: 23件（計画的対応中）

パッチ管理: - 緊急パッチ: 24時間以内適用 - 重要パッチ: 1週間以内適用 - 一般パッチ: 月次適用

4.3 データ保護・プライバシー

4-3-1. 個人情報保護

GDPR準拠状況: - データマッピング: 完了 - 同意管理: システム化済み - 削除権: 自動化対応

国内法令準拠: - 個人情報保護法: 完全準拠 - マイナンバー法: 適切な管理体制

4-3-2. 営業秘密管理

技術情報の保護: - アクセス制御: Need-to-Know原則 - 暗号化: 保存・転送時ともに実施 - 監査ログ: 全アクセスを記録

第5章: コンプライアンス監査

5.1 法令遵守状況

監査責任者: コンプライアンス推進室長 田中コンプライアンス

5-1-1. 主要法令の遵守状況

会社法: - 取締役会運営: 適切 - 株主総会運営: 適切 - 情報開示: 適切

金融商品取引法: - 内部統制報告: 適切 - 四半期報告: 適切 - 適時開示: 適切

労働関連法令: - 労働基準法: 概ね適切（一部改善要） - 労働安全衛生法: 適切 - 男女共同参画: 適切

5-1-2. 業界固有法令

IT業界関連: - 下請法: 適切 - 個人情報保護法: 適切 - 電気通信事業法: 適切

製造業関連: - 製造物責任法: 適切 - 環境関連法令: 適切 - 輸出管理令: 適切

金融業関連（フィンテック）: - 銀行法: 適切 - 資金決済法: 適切 - 犯罪収益移転防止法: 適切

5.2 内部通報制度

5-2-1. 通報受付状況

2024年第1四半期実績: - 受付件数: 8件 - 内容別内訳: - ハラスメント: 3件 - 労働環境: 2件 - 会計処理: 1件 - その他: 2件

対応状況: - 調査完了: 6件 - 調査中: 2件 - 措置実施: 4件

5-2-2. 制度の改善

匿名性の確保: - 外部窓口の設置 - 多言語対応 - 24時間受付体制

フォローアップ: - 通報者保護の徹底 - 再発防止策の実施 - 制度周知の強化

5.3 反社会的勢力排除

5-3-1. 取引先審査

新規取引先: - 審査件数: 45件 - 問題発見: 0件 - 審査期間: 平均5日

既存取引先: - 定期審査: 年1回実施 - 対象件数: 1,250件 - 問題発見: 0件

5-3-2. 教育・啓発

研修実施状況: - 対象者: 全従業員 - 実施頻度: 年1回 - 受講率: 98.5%

第6章: 改善計画・フォローアップ

6.1 重要な不備への対応

6-1-1. テクノロジーソリューションズ 売掛金管理

改善計画: 1. 短期対応（1ヶ月以内）: - E建設、D流通との回収交渉 - 新規取引の一時停止 - 債権保全策の検討

1. 中期対応（3ヶ月以内）:
2. 与信管理規程の見直し
3. 信用調査頻度の向上
4. 早期警戒システムの構築
5. 長期対応（6ヶ月以内）:
6. 売掛金管理システムの刷新
7. 回収体制の強化
8. 顧客ポートフォリオの見直し

責任者: テクノロジーソリューションズ CFO

完了予定: 2024年9月末

6-1-2. テクノロジーソリューションズ 在庫管理

改善計画: 1. 短期対応（1ヶ月以内）: - 長期滞留在庫の処分計画策定 - 評価損の適切な計上
- 緊急在庫処分の実施

1. 中期対応（3ヶ月以内）:
2. 調達契約の見直し交渉
3. 在庫管理システムの機能強化

4. 需要予測手法の改善

5. 長期対応（6ヶ月以内）：

6. Just-in-Time調達の導入

7. 技術トレンド分析の強化

8. 在庫回転率目標の設定

責任者: テクノロジーソリューションズ COO

完了予定: 2024年9月末

6.2 軽微な改善事項への対応

対応期限: 2024年6月末

進捗報告: 月次

6.3 フォローアップ監査

実施時期: 2024年7月

対象: 重要な不備指摘事項

方法: 実地監査 + 書面監査

第7章: 今後の監査計画

7.1 2024年度下期監査計画

重点監査領域: 1. デジタル変革: DX推進に伴うリスク 2. サイバーセキュリティ: 脅威の高度化への対応 3. ESG: 環境・社会・ガバナンス課題 4. 海外展開: 海外子会社の内部統制

監査スケジュール: - 7月: フォローアップ監査 - 8月: IT監査（詳細） - 9月: 海外子会社監査 - 10-11月: 期中監査 - 12月: 年度監査準備

7.2 監査手法の高度化

デジタル監査: - データ分析: 全件検査の実現 - AI活用: 異常検知の自動化 - リモート監査: 効率性の向上

リスクベース監査: - リスク評価: 定量的手法の導入 - 監査計画: 動的な計画見直し - 資源配分: 効率的な監査実施

第8章: 結論・提言

8.1 全体総括

グループ全体の内部統制システムは概ね適切に機能しているが、テクノロジーソリューションズ株式会社において重要な改善事項が発見された。特に売掛金管理と在庫管理については、事業継続に影響を与える可能性があり、早急な対応が必要である。

8.2 経営陣への提言

1. **リスク管理の強化:** 子会社のリスク管理体制の見直し
2. **内部統制の高度化:** デジタル技術を活用した統制強化
3. **人材育成:** 内部監査・コンプライアンス人材の育成
4. **グループガバナンス:** 子会社管理体制の強化

8.3 今後の課題

1. **技術変化への対応:** DX推進に伴う新たなリスク
 2. **グローバル化:** 海外展開に伴うリスク管理
 3. **ESG経営:** 持続可能な経営への対応
 4. **人材確保:** 専門人材の確保・育成
-

付録

A. 監査チェックリスト

B. 法令遵守チェック結果

C. IT統制評価詳細

D. 改善計画進捗管理表

報告書承認: - 委員長: 監査役 石川監査統括 - 内部監査室長: 田村内部監査 - コンプライアンス推進室長: 田中コンプライアンス

配布先: - 代表取締役社長 - 取締役会 - 監査役会 - 各子会社社長 - 外部監査法人